

【広島市公共施設マネジメント講演会】
平成29年(2017年)3月23日(木)

広島市の公共施設マネジメント



広島市企画総務局
分権・行政改革推進課

1

「公共施設」とは

公共施設

インフラ資産

(例)橋、道路、トンネル、上下水道など



ハコモノ資産

(例)公民館、集会所、区民文化センター、スポーツセンターなど



2

公共施設マネジメントとは



地方公共団体等が管理している
公共施設を財政運営と連動させ
ながら、管理・運営する仕組み

3

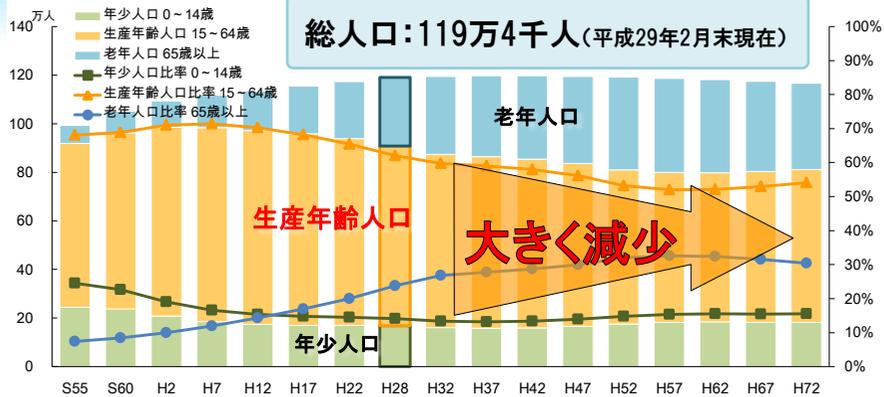
本日の内容の構成

- 1 公共施設を取り巻く状況
- 2 公共施設の現状と課題
- 3 公共施設マネジメント
- 4 ハコモノ資産とまちづくり

4

1 公共施設を取り巻く状況

人口の状況



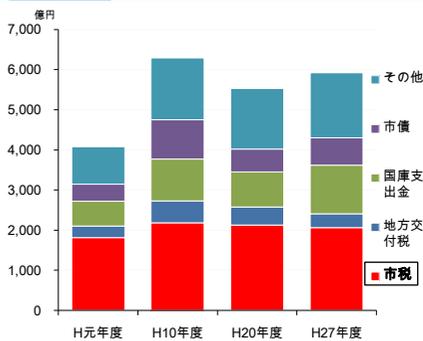
- ・今後、総人口は減少に転じ、老年人口が増加する見込み
- ・働き手の主力となる生産年齢人口(15歳~64歳)は、現在と比べて大きく減少する見込み

5

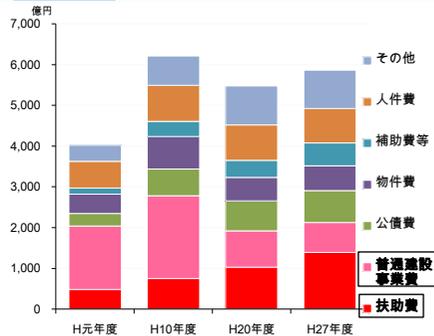
1 公共施設を取り巻く状況

財政の状況

歳入



歳出



- ・主な自主財源である「市税収入」はほぼ横ばいで推移
- ・福祉サービスの提供に充てられる「扶助費」が増加
- ・今後も厳しい財政状況は続いていくものと考えられ、公共施設の更新や維持保全に充当可能な財源が大幅に増加することは見込めない

6

2 公共施設の現状と課題

広島市の公共施設

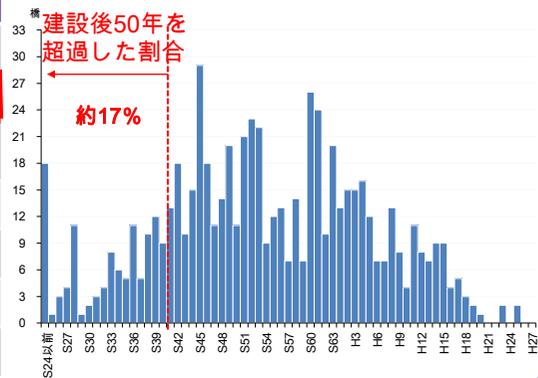
インフラ資産

市民生活や経済活動を支える基盤となる施設

平成28年4月1日現在

施設(主なもの)	施設数
道路(舗装)	4,299km
橋りょう	2,820橋
高架橋(アストラムライン)	168橋
水道管路	4,809km
下水管路	5,950km
準用河川	4本
農道	294km

橋りょうの年度別整備状況



7

2 公共施設の現状と課題

インフラ資産の課題

確実に進むインフラ資産の老朽化

■ 橋りょうの老朽化の一例



20年後には橋りょうの6割以上が建設後50年を超過

現在(H28)



20年後(H48)



財政面

築年数の経過により今後20年間で施設の老朽化が急速に進行し、維持保全費用が増加する見込み

対策面

施設の特性を踏まえ、メンテナンスサイクルの構築による計画的な取組を継続的に取り組むことが必要

技術面

職員全体の技術力の向上等に加え、低廉、簡易で高度な点検・診断技術等を導入し、維持保全に関する作業の効率化が必要

8

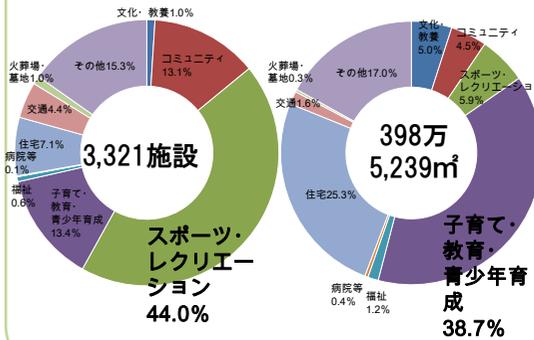
2 公共施設の現状と課題

広島市の公共施設

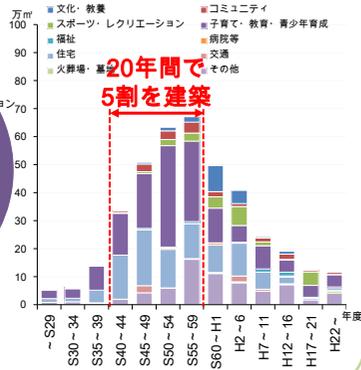
ハコモノ資産

文化・教養、コミュニティ施設などサービスを提供するための機能が付与された施設

ハコモノ資産の施設数・延床面積 平成28年4月1日現在



ハコモノ資産の年度別整備状況



9

2 公共施設の現状と課題

ハコモノ資産の課題

更新・大規模改修費用の将来推計



今後40年間、今ある資産を維持し続け、同じ規模や仕様で更新する場合の費用は、
総額約1兆9,000億円
(年平均約475億円)

財政面	耐用年数を迎えた際に、その全てを現在と同じ規模や仕様で更新することは不可能
サービス提供	設置目的は異なるものの提供するサービスが類似している施設が多数存在するなど、ハコモノ資産全体の最適化が図られていない
機能維持・安全確保	突然の施設破損等による人的被害の発生等を防ぐため、適切な点検の実施により劣化を見越した上で、予防的な修繕や改修が必要

10

2 公共施設の現状と課題

ハコモノ資産の課題

提供するサービスが類似している施設例

施設	施設数	平均規模	大集会室等	研修室等	和室
公民館	71	1,165㎡	●	●	●
福祉センター	14	1,190㎡	●	●	●
老人福祉センター	3	1,331㎡	●		●
勤労青少年ホーム	3	1,138㎡	●	●	●

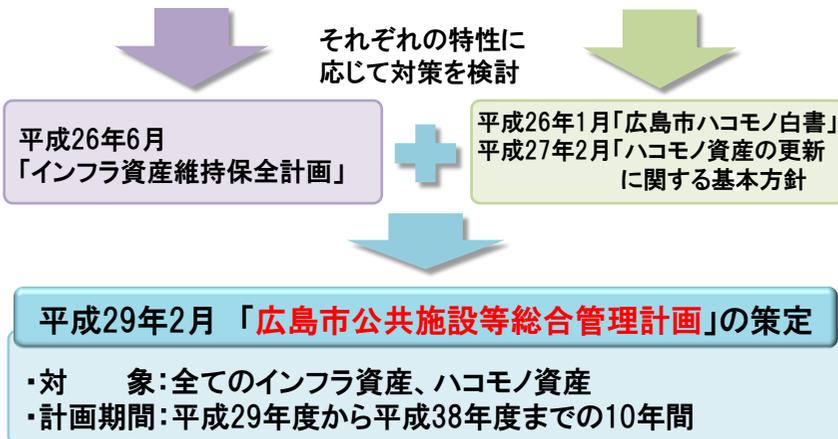


11

3 公共施設マネジメント

平成25年6月「公共施設老朽化対策検討会議」の設置

公共施設の課題に対し、有効な対策を効率的かつ迅速に検討するため、庁内横断的な体制を整備し、全庁を挙げて取り組む。
(市長、副市長、関係局長、区長等で構成)



12

3 公共施設マネジメント

ハコモノ資産の取組方針に掲げる3つの目標

【目標1】市民満足度の高いサービス提供が可能な施設体系の再構築

市民のニーズに応えられるよう機能・サービスを見直すことにより、将来の市民の満足度の高い施設体系を再構築する。

施設の削減目標

13

3 公共施設マネジメント

ハコモノ資産の取組方針に掲げる3つの目標

【目標2】 機能維持と安全確保

適切な点検を実施し、予防的に修繕や改修を行うことにより、施設の機能を適正に維持するとともに施設利用者の安全を確保します。

耐震化、バリアフリー化等への計画的な取組

14

3 公共施設マネジメント

ハコモノ資産の3つの目標

【目標3】 財政負担の軽減・平準化

市民のニーズに応えられるよう機能・サービスを見直し、様々な工夫を講じ施設数・規模を調整するとともに、予防的に修繕や改修を行うことで、施設の更新費用や維持保全費用の抑制し、財政負担の軽減と平準化を図ります。

15

3 公共施設マネジメント

ハコモノ資産の更新に関する方針

1 基本方針

- 【方針1】現行の枠組みに固執せず、施設の機能・サービスの向上を検討する。
- 【方針2】本市の「まちづくり」等との整合性を図りつつ、利用者の利便性等も踏まえ、施設の再配置を検討する。
- 【方針3】財政状況を踏まえて、種々の工夫を講じながら更新量を調整する。



2 施設群の方向性

	定義	施設群
汎用型	汎用性の高い諸室・設備等を有しているもの	(1)大規模 (2)中・小規模 (規模に着目)
専用型	特定のサービスを提供するための諸室・設備等を有しているもの	(3)文化・教養 (4)スポーツ (5)レクリエーション (6)子育て・教育・青少年育成 (7)住宅・交通 (8)福祉・病院等 (用途に着目)



3 施設ごとの更新に関する方針

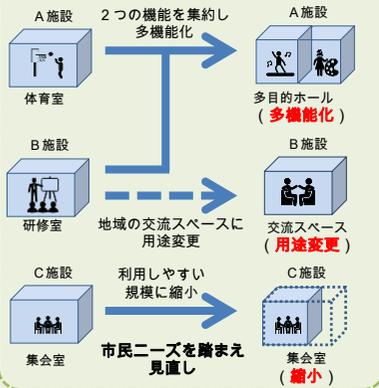
16

3 公共施設マネジメント

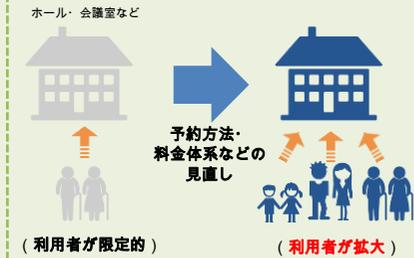
基本方針(全ての施設に共通して検討すべき項目)

【方針1】現行の枠組みに固執せず、施設の機能・サービスの向上を検討する。

■機能・サービスの見直し



■対象者が限定されている規制の見直し



3 公共施設マネジメント

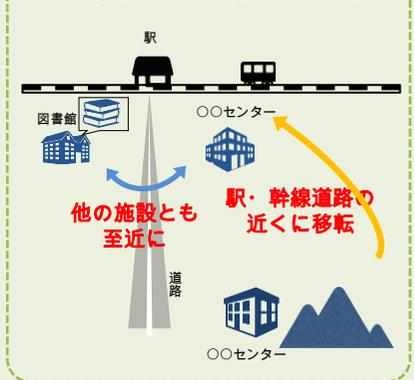
基本方針(全ての施設に共通して検討すべき項目)

【方針2】本市の「まちづくり」等との整合性を図りつつ、利用者の利便性等も踏まえ、施設の再配置を検討する。

■「まちづくり」や「圏域づくり」に資する場所への配置



■利便性の良い場所への配置



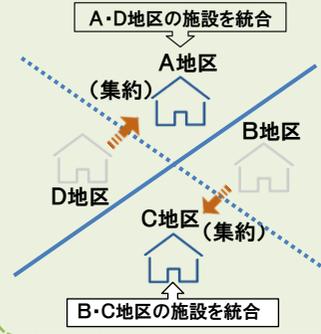
3 公共施設マネジメント

基本方針(全ての施設に共通して検討すべき項目)

【方針3】財政状況を踏まえて、種々の工夫を講じながら更新量を調整する。

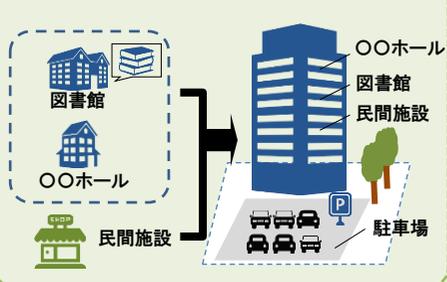
■専用の施設の必要性

■配置基準の見直し



■民間移管の可能性

■複合・集約化



■近隣市町や広島県等との共同設置

■民間活力(PPP・PFIなど)の活用



Icon made by Freepik from www.flaticon.com is licensed under CC BY 3.0

3 公共施設マネジメント

施設群の方向性

次のとおり分類した「施設群」のうち、「汎用型」と「専用型」の8つの「施設群」について、各施設群の現況や特徴を踏まえ、更新に向けた検討の指針として「施設群の方向性」を整理した。

分類	定義	施設群	
汎用型	汎用性の高い諸室・設備等を有しているもの (例)公民館、集会所	(1)大規模 (2)中・小規模	規模に着目
専用型	特定のサービスを提供するための諸室・設備等を有しているもの (例)スポーツ施設、病院	(3)文化・教養 (4)スポーツ (5)レクリエーション (6)子育て・教育・青少年育成 (7)住宅・交通 (8)福祉・病院等	用途に着目

3 公共施設マネジメント

検討の対象とする施設

- ①既に建物の耐用年数を迎えている施設
- ②平成29年度～平成38年度までの計画期間内に耐用年数(※)を迎える施設

※ 耐用年数が60年の施設

(鉄筋コンクリート造・鉄骨造・コンクリートブロック造)

耐用年数が40年の施設

(軽量鉄骨造・木造の住宅や事務所等)



施設ごとに更新の方法を検討する際の
「**基本的な考え方**」を決定

21

3 公共施設マネジメント

検討の対象とする施設

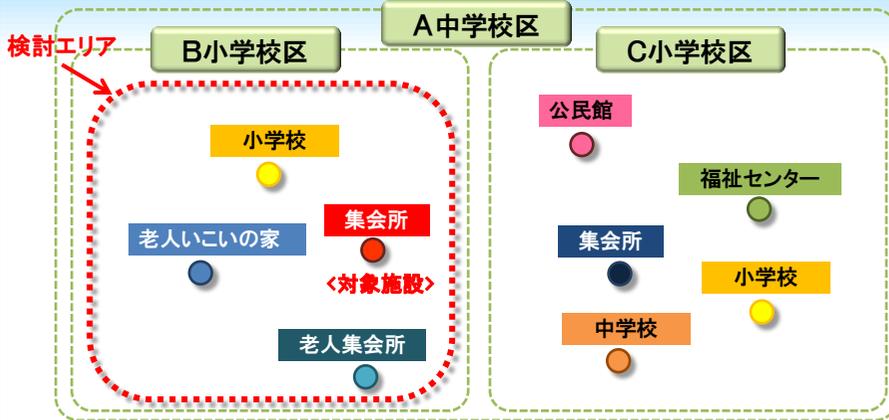
ただし、以下の施設は耐用年数にかかわらず検討の対象とする。

- ①災害などにより施設機能の維持に重大な支障が生じていると認められる施設
- ②社会経済情勢の変化により当初の設置目的に則して提供している機能・サービスと市民ニーズとの間に齟齬が生じていることが利用実態などから明らかな施設
- ③本市の中枢性の強化や地域の活性化のために新たな政策を展開していく上で対応が必要となる施設

22

3 公共施設マネジメント

集会所(43)、老人いこいの家(1)、老人集会所(6)のエリア検討



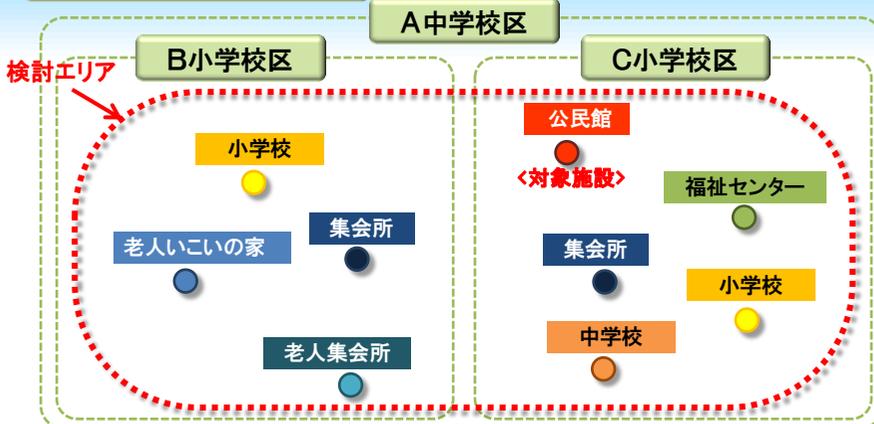
地域の実情に即して、他の施設との複合・集約化により利用者の利便性の向上を図ることなどを地域住民とともに検討します。



23

3 公共施設マネジメント

公民館(1)のエリア検討



地域の実情に即して、他の施設との複合・集約化により利用者の利便性の向上を図ることなどを地域住民とともに検討します。



24

4 ハコモノ資産とまちづくり

自分たちのまちは自分たちで創る

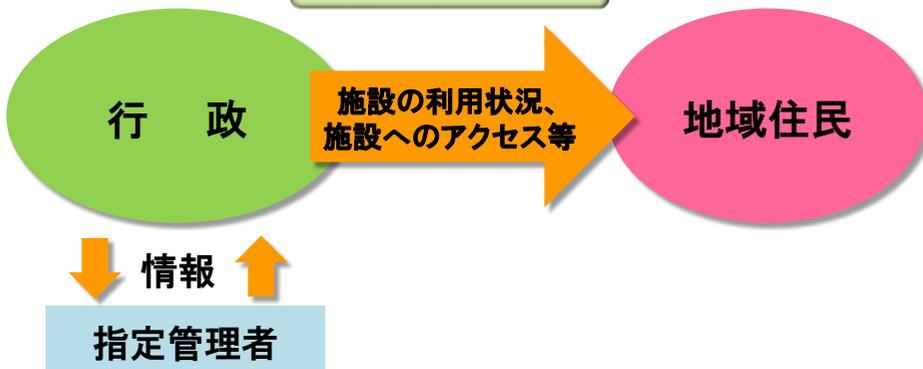


住民が主体的に話し合いの場に参加し、
魅力的な地域を自分たちで創りあげる

25

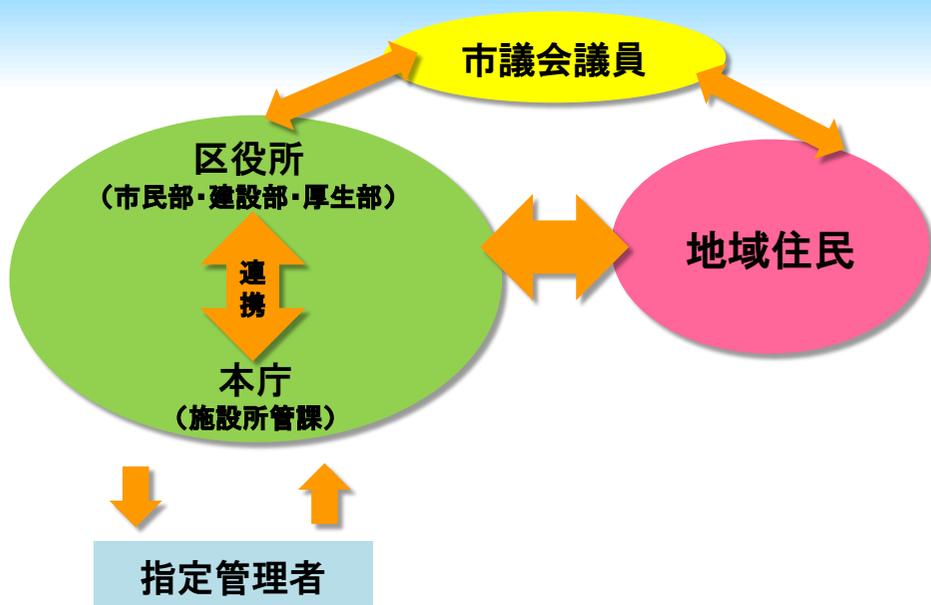
4 ハコモノ資産とまちづくり

情報の見える化



26

4 ハコモノ資産とまちづくり



27



ご清聴ありがとうございました。



28